

エネファクト®

21世紀の電力源（電力供給システム）

Gravity is resources of the earth which contributes to human beings.

－ 重力は、人類に貢献する地球の資源である －

株式会社 G.エネリース

≫ はじめに

太陽の光と火というエネルギーの世界に生きていた人類が、電気というエネルギーを手にして以来、文明は急速に発展して来ました。19－21世紀において経済発展と人口増加に伴い、人類の将来に対する対策が迫られています。

【 現在の電気事業が持つ問題点 】

- ① 地球温暖化・環境汚染対策
- ② CO₂ ガス排出削減対策
- ③ 再生自然エネルギーの拡大使用
- ④ 新エネルギーの開発
- ⑤ 放射能汚染対策 など

上記の問題や、エネルギー不足解決に少しでも役立つものを創りだすことを目的に、8年の歳月をかけて独自のユニット『エネファクト』を開発し、完成させました。新世代の発電システムとして皆様にご紹介いたします。

≫ 世界状況

世界的にみても、後進国の発展に伴い電力エネルギーの需要が年々多くなってきています。

地球のエネルギー資源には限りがあり、今後のエネルギー消費の増大を考えるとその確保が厳しい状況にあります。そこで一部の国では、原子力発電所を建設することでエネルギーを確保するとともに、CO2問題も解決しようとしてきました。

しかし、2011年3月11日の東日本大震災による福島原子力発電所の事故により、放射能汚染の危険性が再認識され、安全性が問われています。

今後、日本を始めとする原発保持国は電力エネルギー政策の転換を余議なくされるでしょう。

そして、この事故をきっかけに世界各国は既に原子力に頼らない安全で安定したエネルギーを求め、世界は動き出しています。

≫ 既存の発電システムの種類と欠点

原子力発電	日本の原子力発電所の事故により、世界中で原発反対運動が活発になっている。今後の新規建設は暗礁。また、使用済燃料の保管場所の確保が難しい。
火力発電	原料である石油・石炭・天然ガス等の資源が枯渇していく過程であり、資源がなくなることによって稼働不能になる。また、CO2問題も深刻である。
水力発電	ダム建設はそれに適した地形と水量が確保されていなければならない。建設にも膨大な資金と年数がかかる。さらに、天候に頼るため、水量が少ないと十分な電力が生産できない。また、自然環境の崩壊は避けられない。
太陽光発電	天候まかせの発電であり、太陽光の少ない地域での設置は不向き。また、発電に必要なレアメタルは高価であり、設置の製造コストも高い。台風等による故障も多発している。
風力発電	風まかせの発電で、一定の風量がないと発電できず、台風の時も装置が停止される。また、風力の回転による低周波により、森林の木々が倒壊したと思われる事例がある。
バイオマス発電	まだ研究段階であり、製造するにもエネルギーが必要。また、事業化する十分な燃料の確保は難しい。
シェールガス	地層深くにある岩盤の隙間にある燃料である為、特殊な技術が必要であり、日本国内にどの位の量があるのかも不明。

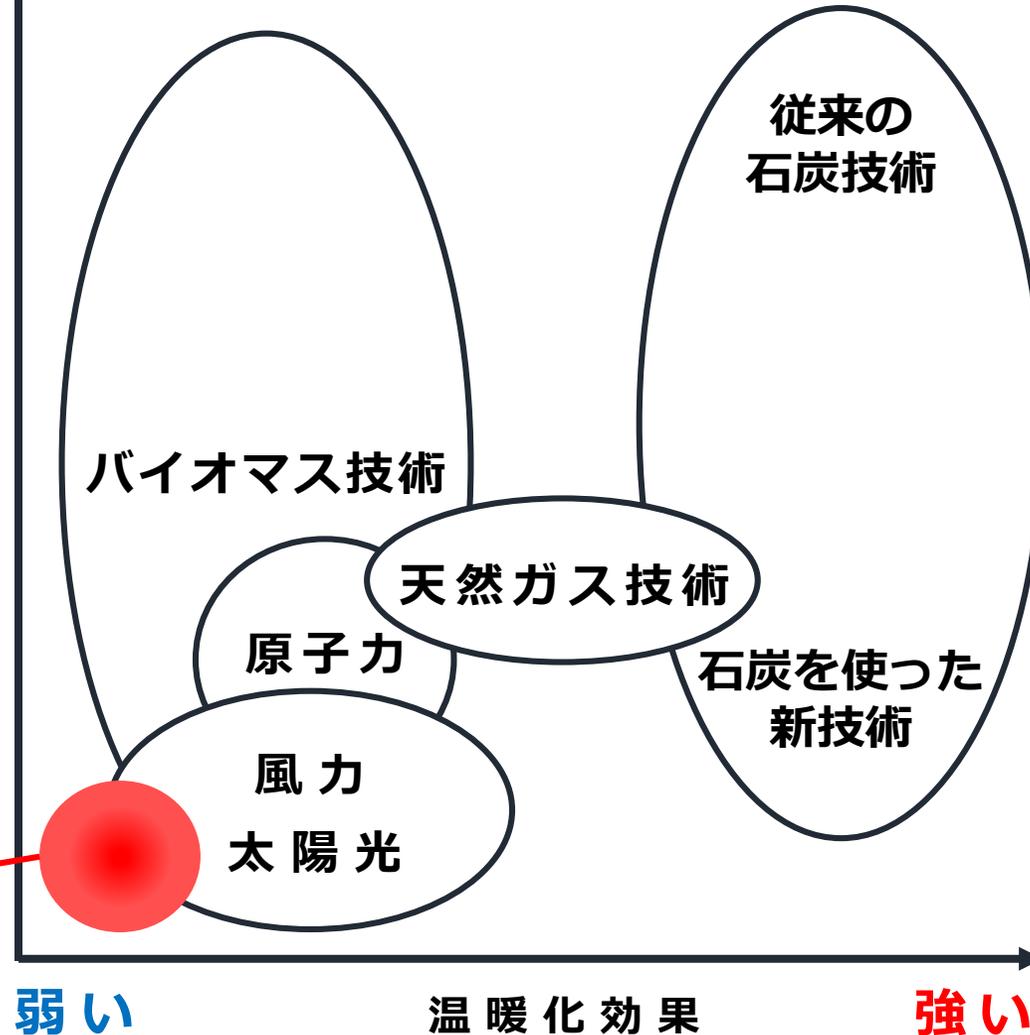
≫ 発電システムが環境に影響を与える位置付け

環境破壊

強い

大気汚染または、その他のインパクト

弱い



原子力は、放射能漏れなどの事故が起こると、人類や自然環境に膨大な被害が及びます

エネファクト

環境破壊

弱い

温暖化効果

強い

» エネファクトについて

製品概要

- ◆ 回転を利用した独自の技術で、大きな力を作りだすことに成功したのがエネファクトです。
エネファクトは、エネルギーを取り出し、発電機を回して電気を発生させる装置です。
- ◆ 大量に電気が必要な工場やマンション、公共施設などでは、電力料金の削減が可能です。
また、農業ハウスや野菜工場など、昼夜問わず電力を使用する施設にも最適です。
- ◆ エネファクトは単独稼働式装置なので、船舶やトラックに設置することができます。
ですので、災害時に電源が確保出来ない場所でも電力の確保が可能です。

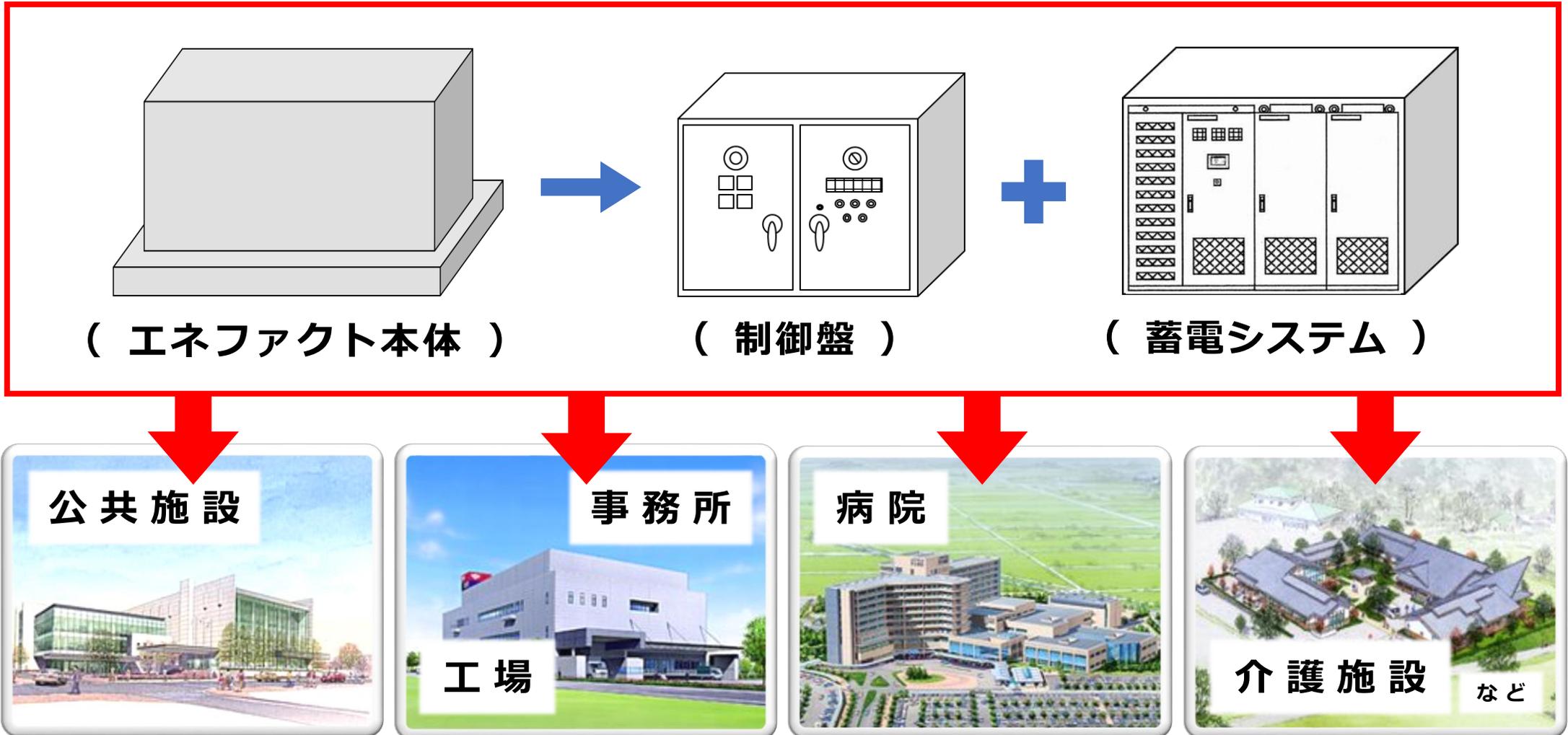
» エネファクトの特徴

製品の特徴

- ◆ 小容量発電1kwから大容量330kw以上と、用途に合わせた幅広いモデルです。
- ◆ 水平な場所であれば設置する場所を選びません。ビルの地下や屋上も設置可能です。
- ◆ 室内外を問わず、天候の影響を受けずに24時間安定した運転が可能です。
- ◆ 蓄電装置との組合せで、停電時でも長時間の運転が可能です。
- ◆ 単独稼働装置なので、工場等の移転時には装置の移設が可能です。
- ◆ 消耗品が少なく、メンテナンスが簡単です。
- ◆ 定期メンテナンスを行うことで30年以上稼働し、安定したエネルギーを供給します。

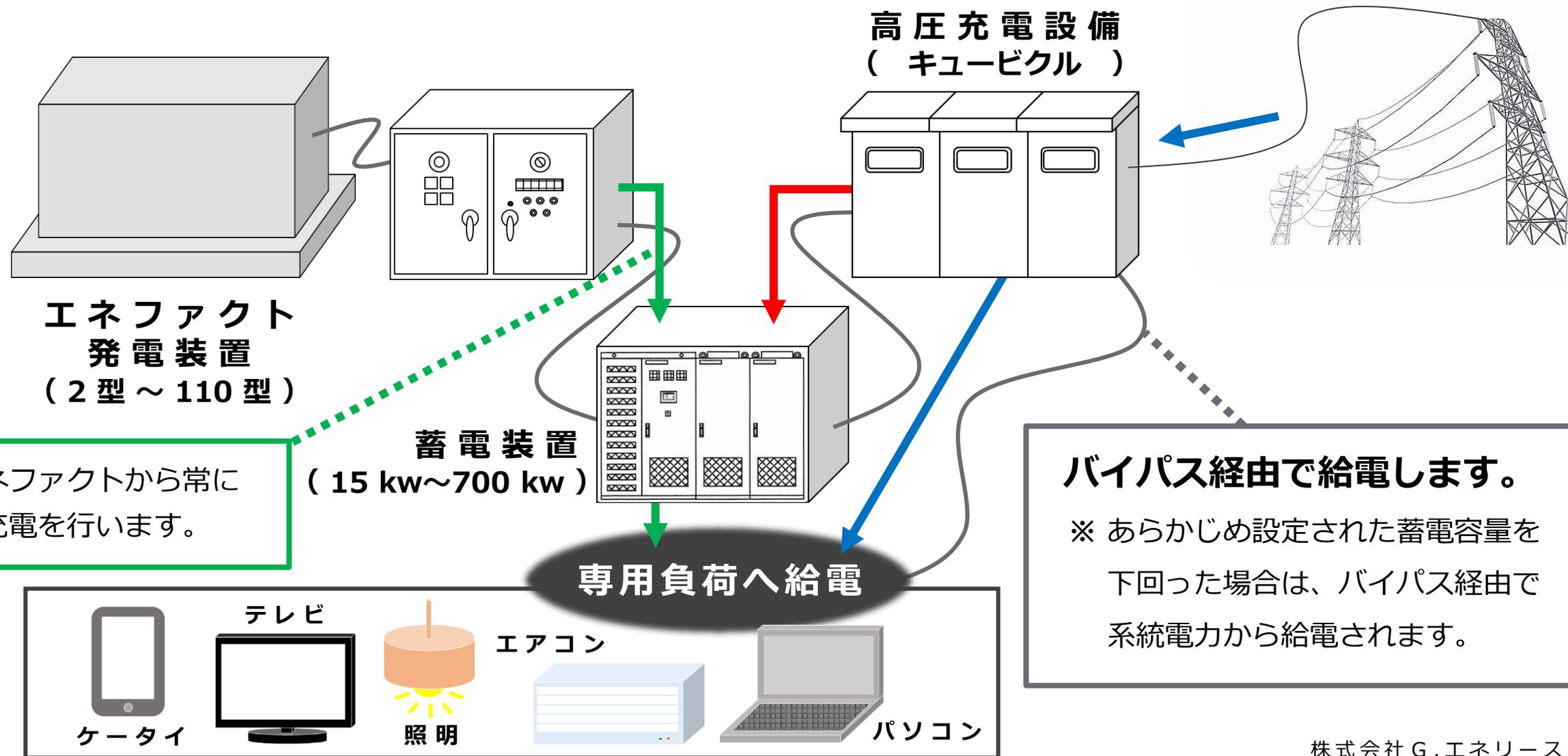
» エネファクトのシステム装置

構成イメージ① 蓄電装置を使用したシステム



» エネファクトのシステム

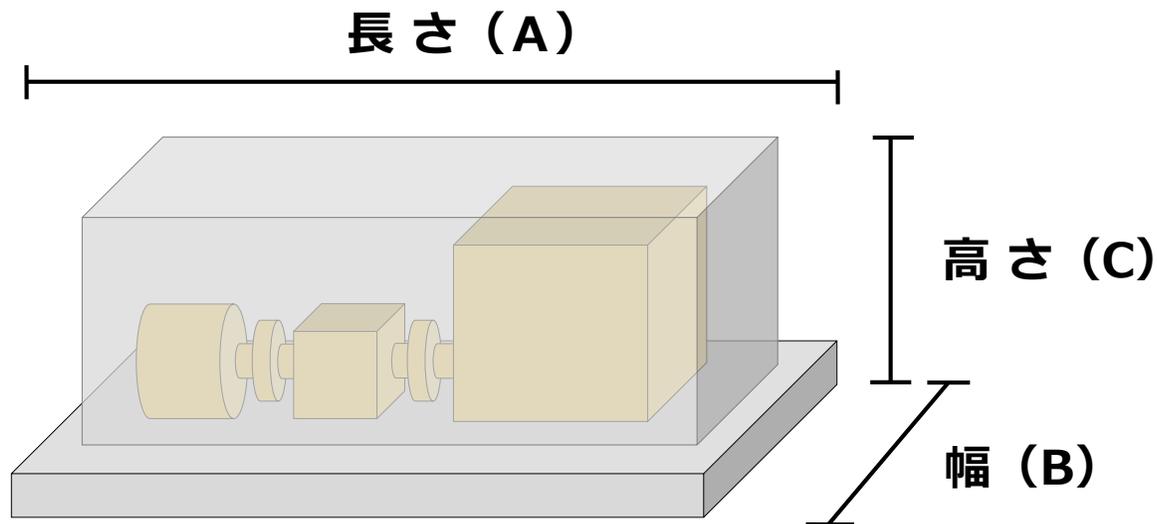
構成イメージ② 蓄電装置を使用しないシステム



» エネファクトの外観

エネファクトのサイズ

エネファクト寸法 (カバー・土台を含む)	長さ (A)	幅 (B)	高さ (C)
2 型 から 55 型 まで	約 2 m ~ 4 m	約 2 m ~ 4 m	約 2 m ~ 3 m
110 型	約 4 m ~ 7 m	約 4 m ~ 6 m	約 4 m ~ 6 m



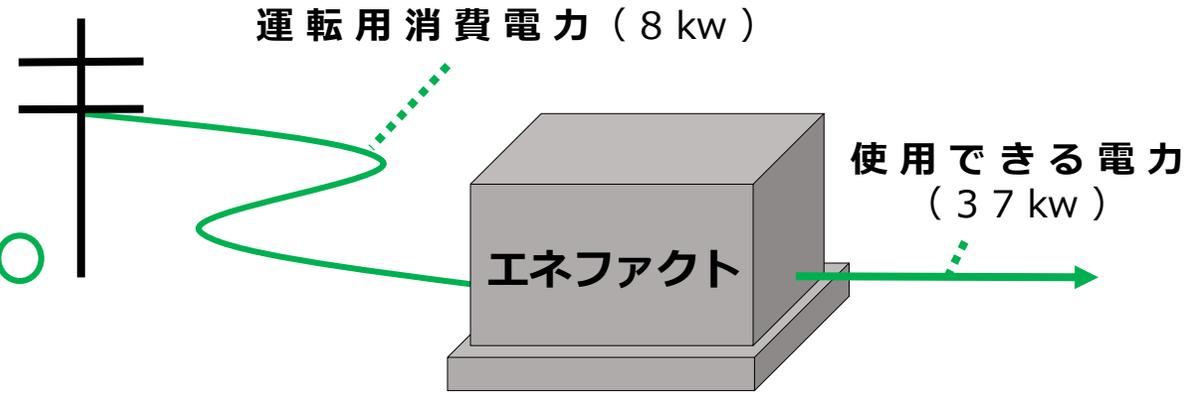
※ 寸法は、仕様によって変更する事があります。

※ 装置には安全の為カバーを被せてあります。

≫ 発電から電力供給までのイメージ図

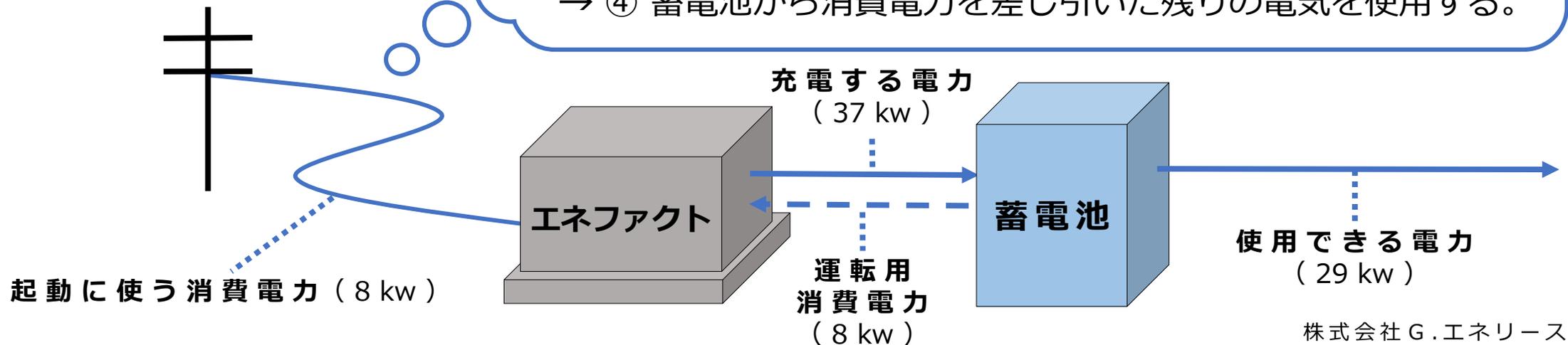
【 外部から電気を買って運転する場合 】

外部から電気を買ひ、エネファクトを運転し発電した電気は全て使用する事が出来る。



【 蓄電池を利用した場合 】

- ① エネファクトを起動する時、外部からの電気を使用する。
- ② エネファクトで発電した電気を蓄電池に蓄える。
- ③ 蓄電池からエネファクトを運転する為の電気を使用する。
- ④ 蓄電池から消費電力を差し引いた残りの電気を使用する。



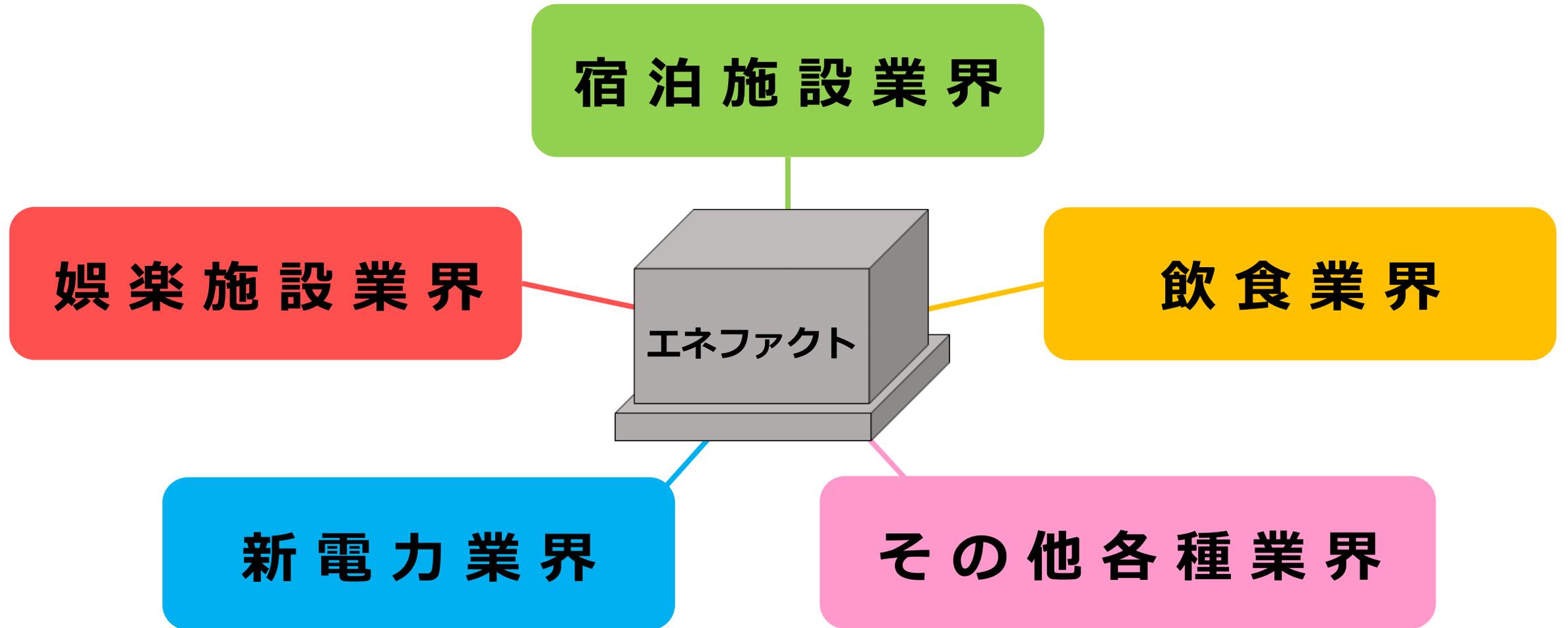
» エネファクトの設置場所

利用シーン

- ◆ オフィスビルやマンション・鉄道の駅・空港など
- ◆ 商業用：スーパーやコンビニ・大型店舗・ホテル
- ◆ 工業用：製造・生産工事・高速道路のパーキング
- ◆ 農業用：施設園芸や野菜工場など冷暖房に
- ◆ 船舶用：各種船舶のモーター駆動装置や、船内の発電専用機として搭載が可能
- ◆ 公共施設や病院・老人ホーム・アミューズメント施設
- ◆ その他、幅広い用途での利用が見込まれます。



≫ 各種業界にも



様々な業界に広げていく事が出来る商品です。

業務用電気温水器ほっとぽっと・エコ（※別紙参照）を取り付けさらに省エネ！

≫ 日本のスマートグリッド構造

電気のスマート利用による低炭素社会の実現

需給両面での変化に柔軟に対応できるよう、ICT（情報通信技術）を活用して、効率的に需給バランスをとり、電力の安定供給を図る次世代送配電網の構想が世界各国で現実的となってきた。

しかし、日本国は政府指導で、太陽光や風力、地熱などの自然エネルギーを豊富に取り込んだ地域エネルギー供給システム構想を進めているが、既存の技術からなる各再生エネルギーの製造量を見ると、国民に供給するには不十分であり現実的ではない。

**しかし、エネファクトをスマートグリッド構想に加えると、
電力不足時には補助電力装置として稼働させ、電力を供給することが可能である。**

» エネファクトによる電力供給 = グループグリッド図

